

修正箇所					備考																																		
D10900610401 アルミ矢板土留					文言修正 文言追加																																		
<p>1 適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道用設計標準歩掛表 第1巻 管路 I 管路施設(開削工法)編 B-4 管路土留工 C-13アルミ矢板土留による。 アルミ矢板による建込矢板工法で標準掘削深が1.5mから3.83.0m以内の場合に適用する。 支保材質料・修理損耗日・運搬費は別途計上すること。 アルミ矢板賃料は別途計上する(D10740330303) <p>2 施工歩掛 (1m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>コード</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ矢板 建込工</td> <td></td> <td>DGD</td> <td>m</td> <td>1.000</td> </tr> <tr> <td>アルミ矢板 引抜き工</td> <td></td> <td>DGD</td> <td>m</td> <td>1.000</td> </tr> <tr> <td>支保材 設置・撤去工</td> <td>軽量金属腹起し材、水圧式ハイクサ ポート</td> <td>WJ</td> <td>m</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>アルミ矢板 賃料</td> <td></td> <td>D10740330303</td> <td>式</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td colspan="3">諸雑費</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1m当り</td> <td></td> <td>(00001)</td> </tr> </tbody> </table>						名称	規格	コード	単位	数量	アルミ矢板 建込工		DGD	m	1.000	アルミ矢板 引抜き工		DGD	m	1.000	支保材 設置・撤去工	軽量金属腹起し材、水圧式ハイクサ ポート	WJ	m	1.00	アルミ矢板 賃料		D10740330303	式	1.00	諸雑費			式	1	1m当り			
名称	規格	コード	単位	数量																																			
アルミ矢板 建込工		DGD	m	1.000																																			
アルミ矢板 引抜き工		DGD	m	1.000																																			
支保材 設置・撤去工	軽量金属腹起し材、水圧式ハイクサ ポート	WJ	m	1.00																																			
アルミ矢板 賃料		D10740330303	式	1.00																																			
諸雑費			式	1																																			
1m当り				(00001)																																			
					歩掛からアルミ 矢板賃料削除																																		

修正箇所	備考																																				
<p>軽量鋼矢板賃料 アルミ矢板賃料</p> <p>1 適用範囲 軽量矢板・アルミ矢板土留工に適用する。 ・ 矢板賃料の供用日数の算出にあたって、工期及び安全費(交通誘導警備員)算出書を使用し算出すること。 条件:⑦舗装切断、⑧舗装工を除いた工事日数を基本とし算出すること。 矢板の供用日数=(工事日数(昼間+夜間)-⑦-⑧)×供用率1.5+5日(搬入搬出) ・ 矢板賃料は供用日数に応じて、30,60,90,120,150日以内を適用する。 ・ 矢板賃料の最低保障日数は30日とする。 ・ 土留機材の整備費は原則として転用回数の補正を行わないものとする。 ・ 修理費及び損耗費は、札幌市下水道管路工事積算基準 07土留工 7単価表 (2)軽量鋼矢板土留により積算するものとする。 ・ 賃料及び修理損耗費は1現場1セットを基本とする。 ・ 別途仮設材の運搬費、積込・取卸費を共通仮設費の積上げとして計上する。</p>	<p>文言追加</p>																																				
<p>2 施工歩掛 軽量鋼矢板賃料 D10740330102(下水道積算基準) アルミ矢板賃料 D10740330303(下水道積算基準) ・ 矢板賃料に係る重量は下表による。※()内はアルミ矢板の場合。</p> <table border="1" data-bbox="226 784 1082 974"> <thead> <tr> <th>適用ケース</th> <th>掘削深(m)</th> <th>矢板長(m)</th> <th>所要枚数</th> <th>1枚当重量(kg)</th> <th>1組当重量(t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>2.00</td> <td>40</td> <td>23.6</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1.50</td> <td>2.00</td> <td>160 (122)</td> <td>23.6 (10.8)</td> <td>3.78 (1.32)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2.00</td> <td>2.50</td> <td>160 (122)</td> <td>29.5 (13.5)</td> <td>4.72 (1.65)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2.50</td> <td>3.00</td> <td>160 (122)</td> <td>35.4 (16.2)</td> <td>5.66 (1.98)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>3.00</td> <td>3.50</td> <td>160 (122)</td> <td>41.3 (18.9)</td> <td>6.61 (2.31)</td> </tr> </tbody> </table>	適用ケース	掘削深(m)	矢板長(m)	所要枚数	1枚当重量(kg)	1組当重量(t)	1	—	2.00	40	23.6	1.00	2	1.50	2.00	160 (122)	23.6 (10.8)	3.78 (1.32)	3	2.00	2.50	160 (122)	29.5 (13.5)	4.72 (1.65)	4	2.50	3.00	160 (122)	35.4 (16.2)	5.66 (1.98)	5	3.00	3.50	160 (122)	41.3 (18.9)	6.61 (2.31)	<p>文言追加</p>
適用ケース	掘削深(m)	矢板長(m)	所要枚数	1枚当重量(kg)	1組当重量(t)																																
1	—	2.00	40	23.6	1.00																																
2	1.50	2.00	160 (122)	23.6 (10.8)	3.78 (1.32)																																
3	2.00	2.50	160 (122)	29.5 (13.5)	4.72 (1.65)																																
4	2.50	3.00	160 (122)	35.4 (16.2)	5.66 (1.98)																																
5	3.00	3.50	160 (122)	41.3 (18.9)	6.61 (2.31)																																
<p>備考1 土留工が割T字部、継手部、分水部など局所的な施工のみで、直線的な管路土留工を伴わない場合には、ケース1を適用する。</p> <p>備考2 ケース2～5は、直線管路部の土留工を施工する場合等に適用する。 軽量鋼矢板 ・ 管路土留工の1セット当り延長は20mとし、矢板幅25cm/枚から、所要数量160枚(両側)を想定している。 アルミ矢板 ・ 管路土留工の1セット当り延長は20mとし、矢板幅33.3cm/枚から、所要数量122枚(両側)を想定している。</p> <p>備考3 上記歩掛の細別条件の選定方法 ・ 持込数量: 上記表の1組当り重量を入力 ・ 日数: 30から150日まで、30日刻みで入力</p>	<p>文言追加</p>																																				

修正箇所	備考
<p data-bbox="220 271 992 304">D10900611200 軽量金属製腹起し材質料・整備料</p> <p data-bbox="220 344 360 376">1 適用範囲</p> <p data-bbox="258 392 679 418">軽量鋼矢板・アルミ矢板土留工に適用する。</p> <ul data-bbox="269 423 970 575" style="list-style-type: none"> ・ 矢板賃料は供用日数に応じて、30,60,90,120,150日以内を適用する。 ・ 供用日数が150日を越える場合は、別途積算する。 ・ 賃料の最低保障日数は30日とする。 ・ 矢板の供用日数を読み替えるものとする。 ・ 2段の場合は2セット分計上すること。 <p data-bbox="237 857 1174 891">D10900611350 軽量金属製水圧式切梁サポート賃料・整備料</p> <p data-bbox="245 925 379 956">1 適用範囲</p> <p data-bbox="274 958 702 985">軽量鋼矢板・アルミ矢板土留工に適用する。</p> <ul data-bbox="285 990 879 1140" style="list-style-type: none"> ・ 掘削深2.0m以下～1段、掘削深2.0m超え～2段 ・ 1セット・1段当り10本 ・ 供用日数に応じて、30,60,90,120,150日以内を適用する。 ・ 賃料の最低保障日数は30日とする。 ・ 水圧手動ポンプ(1現場2台)の賃料を含む 	<p data-bbox="1353 392 1452 418">文言追加</p> <p data-bbox="1353 958 1452 985">文言追加</p>